



県立福山高等学校
図書館便り特別号



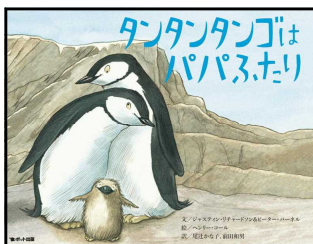
令和2年6月12日
3年図書委員 作成

この図書館便りは、図書委員会の3年井上藍彩が作成しました。

今回、3年部の先生方に『福高の生徒に読んでもらいたい本』を聞きました(先生方に書いていただいた紹介文をそのまま掲載します)。ありがとうございます！先生たちのオススメの本をきっかけに、図書館で本を借りてみませんか。私も先生方のオススメの本を読んでみようと思います。

山田恵先生のオススメの本

- (1) 【タンタンゴはパパふたり】 ジャスティン・リチャードソン(文)
ピーター・パーネル(文)



セントラルパークの動物園には、ロイとシロという雄同士のペンギンのカップルがいる。彼らは仲むつまじく生きてきた。他のカップル同様に、自分たちも卵を温めようとするが、雛はうまれない。そこで…というお話。

動物園が二人のパパをあたたかく見守っていたからこそ実現した素敵なストーリー。

ペンギンの絵もとてもかわいく、文章もわかりやすいです。特にLGBTについて問題提起するわけでもなく、自然なこととして描かれている点も素晴らしいと感じました。英の幼稚園や保育園では、必ずといっていいほど置いてある絵本だそうです。もちろん、小さい頃に出会ってほしい絵本ですが、高校生の皆さんだからこそ、より深くとらえることができるはずです。

※福高図書館にあります。

- (2) 【ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー】 ブレイディみかこ (著)



英国の格差社会に生きる子どもたちと、彼らをとりまく大人たちの生活ぶりを同じ視線の高さで描いているノンフィクションの作品。

著者の息子は、恵まれた上品な家庭の子弟が通う名門のカトリックの小学校を卒業しました。しかしそのままカトリックの中学校に進学せず、「元底辺中学校」に入学します。そして、ここから数々のドラマが始まる…。

著者の中学生の息子は格差と差別を目の当たりにしながらも精神的に大きく成長します。読者の私たちも、イギリス社会の底辺にも積み重なって存在する差別意識やリアルな現状に圧倒されますが、著者の息子の言葉に常に希望を感じることができます。多様性とは何か？エンパシーとシンパシーの違い等はっとさせられ、考えさせられることが多くありました。多角的にとらえることのできる、かなり読み応えのある一冊です。そして、日本社会も人ごとではないはずです。ぜひ、高校生の皆さんに読んでもらい、感じてほしいと思いました。

※福高図書館にあります。

川村琴映先生のオススメの本



(1) 【東京すみっこごはん】 成田 名璃子 (著)

年齢も性別も立場も異なり接点もない人たちが集まり、料理を作って一緒に食べる。1話ごとに主人公が替わり、それぞれ完結する短編なので、本が苦手な人でも非常に読みやすいと思います。登場する人物それぞれが複雑な思いを抱えてはいるけれど、全体的に優しくほっこりする物語でもあり、食事の大切さも改めて考えさせられる素敵な本です。

※福高図書館には1巻から3巻まであります。4巻は8月頃入荷予定です。



(2) 【火怨 北の燿星アテルイ 上・下巻】 高橋 克彦 (著)

『征夷大将軍の坂上田村麻呂が東北を平定した』というの有名なですが、平定された側の蝦夷のリーダーであるアテルイを中心とした物語で、視点を変えて歴史を見る面白さがあります。上・下2巻とも分厚く、はじめは戦いのことが多くて読みづらいかもかもしれませんが、目先の勝利ではなく、いつまでも続く平和のために動いたかっこいい人たちの思いに、涙なしには読めない本です。

※福高図書館には現在ありません。8月頃入荷予定です。

山田百合恵先生、常盤真紀先生からは本を寄贈していただきましたので、ご紹介します。皆さん、是非読んでください。先生方ありがとうございます！



【山田百合恵先生 寄贈】

『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』 JAM (著)

嫌な人や苦手な人がいますよね。理不尽な目にあって、忘れられない…。SNSで人の幸せに嫉妬してしまう…。SNSからリアルな人間関係まで、現代社会の悩みを解決する、目からウロコのちょっとした「考え方」のヒントをマンガとともに紹介されています。



【常盤真紀先生 寄贈】

『わたしたちのトピラス』 セシリア＝スベドベリ (編)

ダウン症という障がいに限らず、障がい児・者と共に生きていくことについて、新たな視点を与えられる絵本。続編に『わたしたちのトピラス学校へ行く』、『わたしたちのトピラス大きくなる』があり、トピラスのその後の成長が語られています。

※『わたしたちのトピラス学校へ行く』『わたしたちのトピラス大きくなる』もいただきました。



【常盤真紀先生 寄贈】

『ハードル』 (1・2巻) 青木 和雄 (著)

容姿成績抜群でバスケット部のエース有沢麗音が、転校した学校の非常階段から転落。事件か事故か!? 麗音の仲間は大人が隠そうとする真実と、自らの勇気の間で迷いながらも立ち上がる。麗音の信念と、自分たちの正義を守るために。